

## タマサイとシトキ（首飾り）

タマサイとはアイヌの女性たちが日常的な首飾りとして身につけられていました。近年は、儀式の際に身につけられています。通常、この飾りの材料にはガラスが用いられますが、トルコ石や海外由来の素材を用いた品も発見されています。これは、歴史的にアイヌが広大な貿易ネットワークを有していたことを表しています。タマサイは家宝として、母から娘に受け継がれていきます。

シトキの首飾りは、アイヌ式の重要な儀式の際に女性たちが身につけます。タマサイと比べるとシンプルな作りで、その材料には主に明るい色のビーズが使われています。複雑なデザインが施された大きな円盤が特徴的で、精神的な意味も込められてフクロウや熊などの神が描かれています。